

令和5年度第3回利用者会議 開催報告

日頃より春日部市市民活動センター(ぽぼら春日部)をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、11月4日(土)と9日(木)の両日、令和5年度第3回利用者会議を開催いたしましたので、以下の通りご報告いたします。会議への参加を促進するため日程を2日間に分け、オンライン併用で開催し、7団体7名の皆さまにご出席を頂きました。

1. 開催概要

	1日目	2日目
日時	11月4日(土)14:00~16:00	11月9日(木)14:00~16:00
会場	ぽぼら春日部 4階 会議室1	
議事	(1)センターからの報告 ・第2四半期事業概況、第3四半期以降の事業計画 ・「ぽぼらフェスティバル 2023」運営計画 ・「市民活動見本市」実施計画 (2)出席者座談会	
出席者	会場参加 2団体 2名 オンライン参加 0団体 0名 2団体 2名 スタッフ 4名 合計 6名	会場参加 4団体 4名 オンライン参加 1団体 1名 5団体 5名 スタッフ 2名 合計 7名

2. 質問・ご意見

(1)センターからの報告(Qは参加者からの質問、Aはセンターからの回答)

・第2四半期事業概況、第3四半期以降の事業計画

Q) 交流ミーティングスペースは今後も食事禁止なのか

A) 衛生面の問題があり、当面食事は禁止、休憩スペースのみ軽食可としたい

Q) 2月のシンポジウムには市民参加推進課の職員も参加するのか

A) ご案内はする予定だが出席は未定

Q) メールマガジンはホームページへ誘導するための広報として有効。どのような経緯で始めることになったのか。

A) ぽぼら開設当初からメルマガ会員を募集しており、数名登録が残っていた。今年度ホームページをリニューアルするにあたり新たに会員を募集し、現在69名の登録がある。

Q) ぽぼらのホームページはどの団体がよく見られているのか。



A) 春日部市ソフトボール協会のページは試合の写真などが掲載されており、多くの会員が見ているため閲覧数が伸びている。

・「ぼぼらフェスティバル 2023」運営計画

Q) 会場が広くなることで、団体交流が分散しないか。見に来た人が理解しにくならないか。

A) 実行委員プラスボランティアスタッフで誘導対策を強化したい。スタンプラリーも 4 階をゴールにしており、回遊性を上げたい

Q) お手伝いのリストを提出したが、どのような仕事の割り振りになるのか。

A) 分担表を作成し出展団体に配布する。

・「市民活動見本市」実施計画

Q) 動画を作成してみたいがサポートしてもらえるか。

A) 活動の様子がわかる写真を用意していただき、パワーポイントで構成や字幕にする文章を考えてきていただければ BGM をつけるなどの編集はセンター職員がサポートする。



(2) 出席者座談会

年間テーマ「交流ミーティングスペースの使い方」について討議を行った。以下は主なご意見。

- ・交流ミーティングスペースへ人が集まるのはいいこと。ある程度人が集まらないと市民活動に関心を持ってくれる人へのアピールにならない。
- ・犬の問題は老若男女だれでもとつきやすい話題なので、関心を持ってもらいつつ、活動の本質を紹介できるようにしたい。
- ・ぼぼらフェスティバルを自分たちの活動を発表する場と考える団体もあれば、多くの市民とつながりを持てる場として捉える団体もいる。両方あっていい。
- ・誰もがほっと一息つけるような場所にぼぼらがなればいい。何の気なしに集う場所となり、何か自分の中に課題が見つかったときに、課題解決に結びつくような団体の存在を知るきっかけになるといい。
- ・学生さんたちに無理に近づこうとするのではなく、自然に活動を知ってもらえる場になればいい。相手に対して変に気を使うと、相手(学生さんたち)も気を遣うようになってしまう。
- ・他地域の公民館のフリースペースを利用していた学生がスマホ講座を開催したというニュースを NHK で見たことがある。ぼぼらでも受験勉強をしている高校生がすぐにそのような事業を行うのは難しいが、大学生になったらボランティアで参加してもらえるように受け皿を作ってみてはどうか。
- ・越谷の市民活動センターでもフリースペースの学生利用が増えてきた。ウエルカムボードや休憩スペースを設置する取り組みはぼぼらへの敷居を低くするうえで効果的だと思う。
- ・ララガーデンやキューブの1階は誰でも入りやすい雰囲気があるがぼぼらは特定の団体が利用する場所といった心理的な障壁があるのではないか。学生や一般の人が誰でも利用できるイメージを作ることが認知度の向上につながるのではないか。

今回ご都合がつかなかった皆さまも、ご意見があればお気軽にスタッフまでお声がけください。

以上